



延島っ子

発行者 延島小学校長 田村芳広

電話 49-0004 FAX 49-2761



6月に入り、全国的に豪雨の日がありました。延島小学区は用水路が多く、稲の生育の関係から水が大量に流れています。集中豪雨の予報があると、学校では毎日のように、用水路に近づかない、冠水したところ近づかないということを子どもたちに指導しています。危機管理、危機意識とは、我々大人がもっているだけでなく、子どもたちにも意識させなければならないことです。子どもたちには命にかかわることは失敗は許されない、間違いましたや忘れしましたも許しませんと話しています。またその話かと子どもたちに言われても、一年間継続して話していきます。

◇正門前の横断歩道北側の用水路が危険です。毎日子どもたちがそこで止まって左右を確認して横断歩道を渡って学校にきます。一步後ろへ下がったらそのまま用水路へ落ちてしまいます。そこで、自治会長様にも見ていただき、市の土木課へ自治会長、PTA会長、学校長連名で要望書を提出することになりました。ご近所でも、そのようなところがあったら、子どもたちと十分気をつけるよう話し合ってください。

いじめ防止強調週間 いじめ防止集会

今年度小山市の小中学校で「いじめ防止強調週間」（5月26日～5月30日）が設定されました。本校では初日の26日月曜日にいじめ防止集会を開きました。

- ①ビデオ「いじめはゼッタイわるい」
- ②感想発表
- ③学年ごとの「いじめゼロ宣言」の発表

[栃木県のスローガン]



学年ごとに考えた「いじめゼロ宣言」はそれぞれの発達段階にあった内容のものを発表していました。例えば1年生は、相手に対する言葉を「まるい言葉」として宣言しました。また、6月13日（金）には、小山市で『いじめゼロ子どもサミット』が開かれました。本校からは6年生の〇〇さんが参加し、絹中と福良小と梁小の代表の人と一緒に絹中ブロックのスローガンを決めました。

自分から笑顔であいさつをして友達の輪を広げていきます

6月16日の給食の時に〇〇さんが発表して、延島小学校を笑顔いっぱいの学校にできるよう全校児童で誓いました。

行事で子どもの心を育てます

学校の教育活動はすべてに意味、(意義)があります。授業はもちろんですが、行事でも子どもたちを育てます。5月中旬から多くの行事がありました。

3、4年さつまいもの苗植え(5/23)



〇〇さんの御指導のもと、一つ一つの苗をていねいに植えました。たくさん収穫できると思います。

避難訓練、防犯教室(5/23)



警察の方に不審者役をしてもらいました。子どもたちを守るために先生方も訓練しました。

修学旅行(5/23・24)



富士山がきれいに見えるなど、快晴に恵まれ、子どもたちにとって心に残る楽しい思い出となりました。

歯と口の衛生週間(6/2~)



保健体育委員会の児童が集会でむし歯についての劇をしました。むし歯の治療よろしくお願ひします。

一里塚花植活動(6/7)



6年生がマリーゴールドなどを丁寧に植えました。ぜひ一度ご覧になってください。散歩にも良い場所です。

各学年ごとにも、この時期は社会科見学や校外学習が実施されています。例えば、4年生には、次のように心を育てることを話しました。「皆さんは大人になるのに三つの育ちがあります。一つは頭を育てます。一つは身体を育てます。そしてもう一つは心を育てます。気持ちや態度、言葉がよくなる

ことです。今回の社会科見学ではどのような心を育てるのか(この行事をどのような心を育てるきっかけにするか)を考えましょう。(三つの心の③『本気で勉強する心』との関連も考え)『施設の人の話を本気で聴く心』とします。もう一度いいます。『施設の〜。』です。頭の中に入りましたか。一日気をつけて心を育ててください。」

育てる心を設定する意図は知識理解や関心態度というより内面的な部分の力をつけることです。施設の人の話を本気で聴くことを身につけることは、校外学習が終わっても先生の話、友だちの話、人の話をきちんと聴く心につながっていきます。つまり、心を育てるということは単にそのときだけではなく、継続的につながって身につけていくことです。例えば、運動会で協力する心を育てたら、それは運動会が終わっても生きて働く力とならなければなりません。運動会や、ねむの木祭は学校全体で同じ時期に一気に子どもたちの心を育てることができます。全校で、全職員で、全児童で一つの合い言葉のように取り組んでいきたいと考えています。



廃棄物再利用(PTA廃品回収) 表彰

小山市より5月30日(金)に表彰を受けました。保護者、地域の皆様の長年にわたる御協力のおかげです。おめでとうございます。